

2015 年国内実地研修概要 (案)

1. 全体のスケジュール

4 月 10 日更新

事項	日程	内容
詳細オリエンテーション	4 月 10 日 (金) 15:00-16:00	DFW の概要の説明と申し込み用紙の配布
募集期間	4 月 10 日 (金) ～ 24 日 (金) 17:00 締切り	申し込み用紙は 4 月 10 日のオリエンテーションの時に配布されます。必要事項を記入して、期日までに実地研修担当助教 LIU Jing の 1 階メールボックスへ提出する。現時点での申し込みに参加費の支払は不要です。
DFW 事前講義 1	4 月 13 日 (月) 8:45～10:15	DFW の概要の説明 場所：第 3 講義室、6 階
DFW 事前講義 2	4 月 17 日 (金) 8:45～10:15	「日本の地方行政と地方自治」 講師：宇佐見先生、LIU Jing 場所：第 3 講義室、6 階
DFW 事前講義 3	4 月 20 日 (月) 8:45～10:15	「日本の教育」 講師：宇佐見先生、LIU Jing 場所：第 3 講義室、6 階
DFW 事前講義 4	4 月 24 日 (金) 8:45～10:15	「日本の農村」 講師：宇佐見先生、LIU Jing 場所：第 3 講義室、6 階
参加者発表	5 月 8 日 (金)	参加者を Internet の DFW サイトで発表する。参加費の金額を発表する。
DFW 事前講義 5	5 月 8 日 (金) 8:45-10:15	予備日
DFW 事前講義 6	5 月 11 日 (月) 8:45-10:15	「大台町の概要 I (H27 年度調査地)」 講師：西出覚氏、大台町役場企画課係長 場所：第 3 講義室、6 階
DFW 事前講義 7	5 月 15 日 (金) 8:45-10:15	「PCM 入門」 講師：梅村先生 場所：第 3 講義室、6 階
DFW 事前講義 8	5 月 18 日 (月) 8:45-10:15	「研究調査入門 (課題の立て方)」 講師：PEDDIE 先生 場所：第 3 講義室、6 階
DFW 事前講義 9	5 月 22 日 (金) 8:45-10:15	「聞き取り調査入門 I (インタビュー)」 講師：LIU Jing 場所：第 3 講義室、6 階
DFW 事前講義 10	5 月 25 日 (月) 8:45-10:15	「聞き取り調査入門 II (調査票の作成)」 講師：宇佐見先生 場所：第 3 講義室、6 階
DFW 事前講義 11	5 月 29 日 (金) 8:45-10:15	「日本における農村振興実践 (熊本県水俣市)」 講師：沢畑先生 (水俣市愛林館・館長) 場所：第 3 講義室、6 階
参加費用の振込みの締め切り	5 月 29 日(金) 17:00	参加費を指定の口座に振り込む。
DFW 事前講義 12	6 月 5 日 (月) 8:45-10:15	「大台町の概要 II (研究計画の作成に向けて：問題意識の確認)」 講師：西出覚氏、大台町役場企画課係長 場所：第 3 講義室、6 階
DFW 研究計画作成	6 月 8 日 (金) 8:45-10:15	各 WG が取り組む。担当教員に適宜相談をして研究計画を作成する。訪問先リストを作成し、担当教員からの承認を得ておくこと。 場所：第 3 講義室、6 階
	6 月 15 日(月) 8:45-10:15	
	6 月 19 日 (金) 8:45-10:15	
	6 月 22 日(月) 8:45-10:15	
DFW 研究計画(案)の報告	6 月 26 日 (金) 8:45-10:15	コメンテーター：沢畑先生 場所：第 3 講義室、6 階
DFW 予備調査	7 月 10 日(金)	大台町訪問 (研究計画の説明、関係機関との打ち合わせ) 各 WG から 2 名が参加する。
DFW 研究計画の改善	7 月 13 日(月) 8:45-10:15	7 月 10 日の予備調査を踏まえ、研究計画の完成に向けて、各 WG の担当教員に指導等をお願いする。 場所：第 3 講義室、6 階
	7 月 17 日(金) 8:45-10:15	

DFW 研究計画(案)報告会	7月20日(月) 8:45-10:15	場所：第3講義室、6階
調査票等の検討と作成	8月－9月	
研究計画、調査票、インタビュー質問リスト、訪問希望先リスト(英文と和文)の提出締切	9月30日(水) 17:00	各WGのリーダーは、担当教員に適宜相談をし、担当教員承認済の研究計画案、調査票、インタビュー質問一覧および訪問希望先をE-mailで実地研修担当助教まで提出する。 liujing@gsid.nagoya-u.ac.jp
現地調査事前ガイダンス	10月16日(金)	場所：第3講義室、6階
現地調査	10月21日－23日	大田町、三重県
調査協力者への礼状の作成と発送	調査終了後 1週間以内	各WGは、礼状の送付先を決め、礼状を下書きし、引率教員の内容確認を得る。送付先一覧を作成し、封筒に入れた書簡と共に事務室に提出し、発送を依頼する。
現地結果報告会	未定	大台町での結果報告会
グループ報告書の原稿締切 <引率教員へ>	12月4日(金) 17:00 締切り	各WGは指定されたフォーマットを使って作成した報告書の原稿を提出する
引率教員による報告書内容の指導	12月15日(火)	担当教員による内容チェック。必ず、この期間内に担当教員から印刷用報告書としての内容承認を得ておくこと。
グループ報告書の最終原稿締切 (担当助教：LIU Jing)	12月21日(月) 17:00 締切り	各担当教員承認済の報告書原稿をCD-Rで実地研修担当助教(LIU Jing)まで提出する。
報告書送付先一覧の作成と通知 <担当助教：劉靖>	12月25日(金) 17:00 締切り	各WGは、報告書の送付先一覧(調査協力者まで)をExcelファイルで作成し、E-mailで実地研修担当助教(LIU Jing)まで提出する。
校正作業等	1～2月中	
報告書発行と発送	3月中	

2. 履修単位

国内実施研修特論 2 単位

国内実地研修 2 単位

国内実地研修を履修する者は、原則的に国内実施研修特論も履修すること。

国内実地研修特論のみを履修する者は、事前に実地研修担当助教 LIU Jing に相談することが必要である。

3. 参加人数

最大 15 名

4. 選考について

→応募者数が 15 人を越える場合、修士 1 年生を優先する。修士 1 年生以外の応募者については、応募者が提出した書類の審査に基づき、国内実地研修委員会が参加の可否を決める。

→修士 1 年生の応募者数が 15 人を越える場合、応募者が提出した応募書類の審査結果に基づき、国内実地研修委員会が参加者を決める。

5. 参加費用

2015 年 5 月 8 日に発表する予定。

6. 保険

本研究科正規のカリキュラムの一環として、国内実地研修履修者は学生教育研究災害傷害保険(略称：学研災)および学研災付帯賠償責任保険の加入が義務になります。保険の総額は 2,430 円となる。実地研修の出発前までに、GSID 事務室で加入してください。

7. 問い合わせ先

実地研修担当助教：LIU Jing (liujing@gsid.nagoya-u.ac.jp) 研究室 306